

清水眞澄教授 略歴・業績

略歴

- 一九三九・ 八・一二 横浜市鶴見区（現住所）にて出生（父 巖、母 信子）
- 一九四六・ 四 横浜市立末吉小学校入学
- 一九五二・ 三 同校卒業
- 一九五二・ 四 中学校入学
- 一九五五・ 三 同校卒業
- 一九五五・ 四 芝高等学校入学
- 一九五八・ 三 同校卒業
- 一九五八・ 四 東北大学文学部入学
- 一九六二・ 三 同大学文学部史学科東洋芸術史科卒業
- 一九六二・ 四 黒沢通信工業株式会社勤務

- 一九六六・一二
- 一九六七・二
- 一九七五・四
- 一九七八・四
- 一九七九・四
- 一九八二・三
- 一九八二・四
- 一九八二・四
- 一九八四・四
- 一九八四・四
- 一九八五・四
- 一九八八・四
- 一九八九・二
- 一九八九・四
- 一九八九・四
- 一九九〇・一
- 一九九〇・五
- 一九九一・三

同退社

神奈川県立博物館学芸部研究員

同主任研究員

法政大学非常勤講師（〽一九八三・三）

青山学院大学非常勤講師（〽一九九〇・三）

神奈川県立博物館退館

成城短期大学助教

江東区文化財保護審議会委員（〽現在）

鶴見大学非常勤講師（〽一九八七・三）

東京工業大学非常勤講師（〽一九八五・三、一九八六・四〽一九八七・三）

成城短期大学教授

豊島区文化財保護審議会委員（〽二〇〇七・二）

秦野市郷土館基本構想等策定委員会委員（〽一九九〇・三）

成城短期大学学長（〽一九九四・三）

成城学園評議員（〽一九九六・三）

横浜市歴史博物館展示委員会委員（〽一九九一・五）

成城学園理事（〽一九九一・二）

秦野市博物館基本計画調査検討委員会委員（〽一九九四・二）

- 一九九一・四 三井文庫評議員（〽二〇〇五・五）
- 一九九二・一 厚木市博物館専門委員会委員（〽一九九五・三）
- 一九九二・一〇 横浜市歴史及び文化財関係施設資料収集審査委員会委員（〽二〇〇四・三）
- 一九九三・一二 板倉町歴史民俗博物館策定・機能委員会委員（〽一九九四・一一）
- 一九九四・一 成城学園理事（〽一九九六・三）
- 一九九四・四 組織変更により成城大学短期大学部教授（〽二〇〇二・四）
- 一九九四・四 同学部部長（〽一九九六・三）
- 一九九五・一二 沖縄県立芸術大学非常勤講師（〽二〇〇八・一二）
- 一九九六・五 川崎市文化財保護審議会委員（〽二〇〇八・四）
- 一九九六・九 文化庁文化財保護審議会専門委員（絵画・彫刻）（〽二〇〇六・八）
- 一九九八・二 鎌倉市教育委員会美術工芸作品収集選定委員会委員（〽現在）
- 一九九六・四 成城学園評議員（〽二〇〇二・三）
- 一九九八・四 神奈川県文化財保護審議会委員（〽二〇〇八・四）
- 二〇〇〇・一 静岡県文化財保護審議会委員（〽現在）
- 二〇〇一・三 文部科学省独立行政法人評価委員会委員（国立美術館・博物館、文化財研究所部会）（〽二〇〇七・二）
- 二〇〇二・四 成城大学文芸学部芸術学科教授（〽二〇一〇・三予定）
- 二〇〇二・四 財団法人氏家浮世絵コレクション評議員（〽現在）

- 二〇〇四・一 鎌倉国宝館協議会委員（～現在）
- 二〇〇五・五 財団法人三井文庫理事（～現在）
- 二〇〇五・八 三井記念美術館館長（～現在）
- 二〇〇七・四 成城大学学長（～二〇一〇・三予定）
- 二〇〇七・四 成城学園理事・評議員（～二〇一〇・三予定）
- 二〇〇七・四 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産一覧表記載推薦書作成委員会委員（～現在）
- 二〇〇八・四 独立行政法人国立文化財機構外部評価委員会委員（～現在）
- 二〇一〇・一 東京都動物園有識者会議委員（～現在）

業 績

著 書

- 一九七九・七・一一 『鎌倉大仏』 有隣堂
- 一九八二・一〇・三〇 『仏像』 平凡社
- 一九八三・五・二〇 『日本美術史』 法政大学
- 一九八五・二・二〇 『鎌倉の仏像文化』 岩波書店
- 一九八六・三・三一 『神奈川の平安仏』 神奈川合同出版

- 一九八八・四・二四 『室生の里有情』 佼成出版
- 一九八九・三・三一 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九九〇・四・一 『人間の美術』 六巻―末世の絵模様―(共著) 学習研究社
- 一九九一・九・三〇 『日本の仏像』 一卷―如來― ぎょうせい
- 一九九一・一〇・三一 『日本の古美術』 一六巻 新薬師寺と白毫寺・円成寺(共著) 保育社
- 一九九二・二・一 『三井家旧蔵 能面』(編・著) 学習研究社
- 一九九九・二・二〇 『仏像と人の歴史発見』 里文出版
- 二〇〇〇・八・五 『美術史論叢―造形と文化―』(編・著) 雄山閣
- 二〇〇七・五〃二〇〇八・六 『週刊日本の仏像』 全五〇号(総監修) 講談社
- 二〇〇八・九・九 『原寸大日本の仏像 京都編・奈良編』(総監修) 講談社
- 二〇〇九・一〇・二八 『よくわかる仏像のすべて』 講談社

論文・報告書・解説

- 一九六九・三・三一 「関東の院派仏師について」『神奈川県立博物館 研究報告』二号 神奈川県立博物館
- 一九六九・九・一 「院派仏師について―院尚・院賢・院円―」『三浦古文化』六号 三浦古文化研究会
- 一九七二・六・一五 「阿弥陀堂勝長寿院の建立について」『金沢文庫研究』一九四号 金沢文庫

- 一九七二・七・一 「仏師院朝と吉仲莊」 『仏教芸術』 八六号 毎日新聞社
- 一九七二・九・三〇 「五島美術館の愛染明王像」 『三浦古文化』 一二号 三浦古文化研究会
- 一九七三・三・三一 「二宮町の仏像（Ⅰ）」 『二宮文化財調査報告書Ⅰ』 二宮町教育委員会
- 一九七三・九・一 「円覚寺正伝庵の明岩正因像」 『鎌倉』 二一〇号 鎌倉文化研究会
- 一九七三・一一・一 「京都宝積寺の十一面観音立像」 『MUSEUM』 二七二号 東京国立博物館
- 一九七四・九・二〇 「仏師院広とその作例」 『国華』 九七三号 国華社
- 一九七四・九・三〇 「東漸寺の薬師如来坐像について」 『三浦古文化』 一六号 三浦古文化研究会
- 一九七五・三・三一 作品解説 『神奈川県文化財図鑑』 彫刻編 神奈川県教育委員会
- 一九七五・七・一 「仏師運慶の勾当職と堂衆の問題」 『仏教芸術』 一〇二号 毎日新聞社
- 一九七五・九・一 「鎌倉地方の彫刻とその様式」 『MUSEUM』 二九四号 東京国立博物館
- 一九七五・九・二〇 「常楽寺の木造十二神将像」 『川崎市文化財調査集録』 一〇号 川崎市教育委員会
- 一九七六・三・三一 「二宮町の仏像（Ⅱ）」 『二宮文化財調査報告書Ⅱ』 二宮町教育委員会
- 一九七六・五・三〇 「正統院木造仏国師像について」 『仏教芸術』 一〇七号 毎日新聞社
- 一九七七・三・三一 「妙楽寺薬師三尊像」 『川崎市文化財調査集録』 一二号 川崎市教育委員会
- 一九七七・三・三一 「阿弥陀寺の彫刻について」 『箱根の文化財』 一二号 箱根町教育委員会
- 一九七七・六・一 「鎌倉時代の院派仏師について」 『国華』 一〇〇一号 国華社
- 一九七八・三・三一 「能満寺虚空蔵菩薩像」 『川崎市文化財調査集録』 一三〇号 川崎市教育委員会
- 一九七八・三・三一 「興福院の彫刻について」 『箱根の文化財』 一三〇号 箱根町教育委員会

- 一九七八・五・一 「鎌倉地方における星宿関係の遺例について」『三浦古文化』一三三号 三浦古文化研究会
- 一九七八・九・一六 『木造阿弥陀如来立像解体修復報告』二宮町浄土宗浄源寺
- 一九七八・一二・一 『宋風彫刻再考(上)』『仏教芸術』一二二号 毎日新聞社
- 一九七九・三・三一 「正眼寺の彫刻」『箱根の文化財』一四号 箱根町教育委員会
- 一九七九・一二・三一 「長生院の木造阿弥陀如来坐像」『藤沢市史研究』一三三号 藤沢市文書館
- 一九八〇・一〇・一 『藤沢市の彫刻』『藤沢市史』七卷 藤沢市史編纂室
- 一九八一・三・二五 「建長寺木造大覚禪師像と「玉眼」の問題」『神奈川県立博物館 研究報告』九号 神奈川県立博物館
- 一九八一・三・三〇 「五臓六腑のある宋代木造菩薩半跏像」『仏教芸術』一三六号 毎日新聞社
- 一九八一・三・三一 「宝蓮寺の彫刻」『秦野の文化財』一七集 秦野市教育委員会
- 一九八二・三・三一 「二宮町の仏像(Ⅲ)」『二宮町文化財調査報告書Ⅲ』二宮町教育委員会
- 一九八二・六・二〇 「横浜・遍照寺の木造薬師如来像について」『鎌倉』四〇号 鎌倉文化研究会
- 一九八二・九・三〇 「中世の塑像に関する二・三の問題」『金沢文庫研究』二六九号 金沢文庫
- 一九八二・一一・三〇 「東光院の仏教彫刻」『川崎市文化財調査集録』一八号 川崎市教育委員会
- 一九八二・一一・三〇 「寿福寺の木造国一禅師坐像」『川崎市文化財調査集録』一八号 川崎市教育委員会
- 一九八三・一・三〇 「日向薬師宝城坊の仏像」『神奈川県史編纂室』五〇号 神奈川県史編纂室
- 一九八四・一一・三〇 「旧東大寺油倉の大黒天像について」『仏教芸術』一五七号 毎日新聞社

- 一九八六・一一・一 「光伝寺木造地藏菩薩立像」 『三浦古文化』 四〇号 三浦古文化研究会
- 一九八七・七・三一 「館山の仏像」 館山市立博物館
- 一九八七・九・一 「仏師院豪とその作例」 『MUSEUM』 四三八号 東京国立博物館
- 一九八七・一二・一〇 「仏師院尊論」 『成城短期大学紀要』 一九号 成城短期大学
- 一九八八・三 「秦野の仏像」 秦野市教育委員会
- 一九八九・三・三一 「東国における院派仏師の動向」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九八九・三・三一 「中世仏師の肩書き」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九八九・三・三一 「法橋円覚銘の仏像」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九九〇・七・三一 「南足柄市の仏像」 『南足柄市史』 南足柄市市史編纂室
- 一九九〇・一一・一 「小田原氏本誓寺の阿弥陀如来立像について」 『三浦古文化』 四八号 三浦古文化研究会
- 一九九一・二・二八 「箱根町の仏像」 『箱根の文化財』 一六号 箱根町教育委員会
- 一九九一・七・三一 「院尊と明円」 『上野文化財団助成 研究会報告書』 二一冊 京都国立博物館
- 一九九一・九・三〇 「仏師院興作の京都・妙覚寺木造日蓮上人坐像」 『仏教芸術』 一九八号 毎日新聞社
- 一九九二・三・一 「院派仏師の現存する銘文等資料について」 『紀要』 二二号 成城短期大学
- 一九九二・七・三一 「院政期における一仏師の生涯―仏師院覚をめぐる―」 『院政期の仏像』 京都国立博物館
- 一九九二・一二・五 「東京都 勝林寺の木造釈迦如来坐像」 『三浦古文化』 五一号 三浦古文化研究会

- 一九九四・三・三一 『小田原の仏像銘文集―信仰と造形の歴史―』 小田原市市史編纂室
- 一九九四・三・三一 『岐阜白川村の仏像』 白川村教育委員会
- 一九九五・三・二〇 「仏師院助と院政期における造仏界の動向」 『佐伯有清先生古稀記念 論文集 日本
の祭祀と仏教』 吉川弘文館
- 一九九五・三・三一 「岐阜・安国寺の彫刻と歴史」 『上原和博士古稀記念 美術論集』 中央公論事業出版
- 一九九五・三・三一 「伊勢原市の彫刻」 『伊勢原市史』 通史編 伊勢原市
- 一九九五・一一・一一 特別展図録『仏像―院派仏師の系譜と造像―』 横浜市歴史博物館
- 一九九六・五・二五 「鎌倉大仏隠の岐阜・新長谷寺木造釈迦如来坐像について」 『鎌倉大仏史研究』 創
刊号 鎌倉大仏史研究会
- 一九九七・一・二〇 『岐阜白鳥町の彫刻―白山信仰と造形―』 白鳥町
- 一九九八・三・一 「奥美濃白鳥町長滝における環境変化と仏像等文化遺産の歴史」 『紀要』 二八号 成
城大学短期大学部
- 一九九九・三・一 「鎌倉・禅居院の観音菩薩半跏像について―中国像との形姿の比較を中心にして―」
『紀要』 三〇号 成城大学短期大学部
- 一九九九・三・一五 「小田原の彫刻史と「小田原仏師」」 『おだわら―歴史と文化―』 一二号 小田原市市
史編纂室
- 一九九九・三・三一 『高賀山の信仰と造形』 成城大学仏像調査団
- 一九九九・三・三一 「善立寺の仏像」 『川崎市文化財調査収録』 三四号 川崎市教育委員会

- 一九九九・五・一 「地方の大仏師と仏たち（一）備中仏師経尋阿波仏師慶尊」『目の眼』二七二号 里
文出版
- 一九九九・六・一 「地方の大仏師と仏たち（二）下総の仏師賢光」『目の眼』二七三号 里文出版
- 一九九九・七・一 「地方の大仏師と仏たち（三）小田原の仏師蓮池左内と宮田新八政重」『目の眼』二
七四号 里文出版
- 一九九九・八・二六 「仏像にみる鎌倉時代の精神と造形」『鎌倉と北条氏』新人物往来社
- 二〇〇〇・三・三一 『伊勢原市の仏像』伊勢原市教育委員会
- 二〇〇〇・三・三一 『豊島区の仏像』豊島区教育委員会
- 二〇〇〇・七・二〇 「鎌倉大仏の鑄造技法について」『紀要』三三二号 成城大学短期大学部
- 二〇〇二・一・三一 「岐阜・即心院の清涼寺式釈迦如来像」『仏教芸術』二六〇号 毎日新聞社
- 二〇〇二・三・二五 「鎌倉大仏の形姿と様式について―宋風との関わりを中心に―」『美學美術史論
集』一四号（東山健吾教授退任記念）成城大学大学院文学研究科
- 二〇〇二・七・三〇 「長滝寺の宋代木造韋駄天立像と善財童子立像」『仏教芸術』二六三号 毎日新聞社
- 二〇〇二・七・三〇 「美濃と飛騨の仏像」『仏教芸術』二六三号 毎日新聞社
- 二〇〇二・一〇・三 「鎌倉大仏の経緯と問題点をめぐって」『鎌倉大仏と阿弥陀信仰展図録』神奈川県立
金沢文庫
- 二〇〇三・一・二〇 「相模の仏像」『国華』一二八七号 国華社
- 二〇〇三・三・一 「岐阜伊自良村の仏像」伊自良村教育委員会

- 二〇〇四・二・二八 『岐阜・美並村の仏像』 美並村教育委員会
- 二〇〇四・九・一〇 『鎌倉大仏史研究(二)』 『成城文藝』 一八八号 成城大学文芸学部
- 二〇〇四・九・三〇 『岐阜 矢作町の仏像―附 美しい自然風景―』 上矢作町教育委員会
- 二〇〇五・三・三一 『可児市の平安仏』 『可児市史』 可児市
- 二〇〇六・二・一五 『法雲寺阿弥陀如来像―平成修理の経過とその意義―』 法雲寺
- 二〇〇六・三・二五 『高賀山信仰と那比神宮神社虚空蔵菩薩像について』 『民俗学研究』 三〇集 民俗学研究所
- 二〇〇六・三・三一 『薬王寺の仏像』 『薬王寺―仏像 建築 大般若経―』 可児市史編纂室
- 二〇〇七・三・三一 『桜堂薬師の仏像』 『瑞浪市桜堂薬師の仏像』 瑞浪市教育委員会
- 二〇〇七・一・三〇 『鎌倉大仏 高德院銅造阿弥陀如来坐像』 『仏教芸術』 一九五号 毎日新聞社
- 二〇〇八・二・二〇 『『三宝絵』の「仏の三十二相」と定朝様式の形成』 『三宝絵を読む』 吉川弘文館
- 二〇〇九・七・一一 『正安三年(一三〇一) 銘の木造妙見菩薩立像をめぐる』 『道教の美術展図録』 読売新聞大阪本社・大阪市立美術館
- 二〇一〇・二 『Buddhist Sculptures Forms of Faith, and Religious Space in Japan』 『The Asian Art Legacy』 IBERSAF: Madrid
- 二〇一〇・三・二三 『仏像の表象「白毫相」について』 『美學美術史論集』 一八号 成城大学大学院文学研究科

その他

- 一九七一・一一・一五 「木造栄西禅師坐像の複製」 『神奈川県立博物館だより』二五号 神奈川県立博物館
- 一九七二・五・一五 「東慶寺観音菩薩半跏像」 『神奈川県立博物館だより』二八号 神奈川県立博物館
- 一九七二・一一・一五 「兜のとれる仏像」 『神奈川県立博物館だより』三一号 神奈川県立博物館
- 一九七三・一〇・一五 「裳裾のはずれる仏像」 『神奈川県立博物館だより』三六号 神奈川県立博物館
- 一九七五・三・一五 「五臓六腑のある仏像」 『神奈川県立博物館だより』四五号 神奈川県立博物館
- 一九七六・三・一〇 「神奈川の平安彫刻と古代文化」 『有鄰』一〇〇号 有隣堂
- 一九七六・三・三一 「神奈川の平安彫刻」 『かながわ文化財』七二号 神奈川県文化財協会
- 一九七六・七・一五 「星の信仰と美術」 『神奈川県立博物館だより』五三号 神奈川県立博物館
- 一九七七・八・一九 「百体の仏像を観る―神奈川の彫刻」 『毎日新聞』毎日新聞社
- 一九七七・一〇・一五 「神奈川の彫刻」 『神奈川県立博物館だより』五七号 神奈川県立博物館
- 一九七八・二・一 「弥勒とその形」 『大法輪』四五卷二号 大法輪閣
- 一九七八・七・二五 「東国の仏像と仏画」 『太陽―仏像・仏画シリーズⅢ』平凡社
- 一九七九・三・二九 「鶴岡八幡宮宝物と神仏分離―移動した宝物 鶴岡八幡宮北斗堂」 『神奈川県立博物館だより』六三号 神奈川県立博物館
- 一九七九・五・一〇 「重さ約百二十トン 鎌倉の大仏（高德院）」 『鎌倉みほとけ巡礼』大日本絵画
- 一九七九・六・三〇 「平安時代の彫刻」 『かながわ文化財』七五号 神奈川県文化財協会

- 一九七九・七・一〇 「鎌倉大仏 造立の謎をめぐって」 『有鄰』一四〇号 有隣堂
- 一九七九・九・一 「仏像の周辺」 『教養月報』三六五号 神奈川県教育委員会
- 一九七九・一一・二〇 「仏像の知識」 『歴史百科―日本古寺事典』 新人物往来社
- 一九八〇・二・一 「方広寺の木造釈迦如来及び両脇侍像について」 『神奈川県博物館協会会報』四一号
神奈川県博物館協会
- 一九八〇・四・二五 「浄土信仰と仏たち」 『太陽―庭と家シリーズVI』 平凡社
- 一九八〇・六・二四 「仏像の入門書」 『歴史百科 日本の歴史書3500』 新人物往来社
- 一九八一・一・二三 「鎌倉地方の彫刻」 『日本古寺美術全集 二巻 鎌倉と東国の古寺』 集英社
- 一九八三・二・二五 「日本の観音菩薩像」 『太陽―仏の美と心シリーズI』 平凡社
- 一九八三・三・二五 「輪郭をあらわす鎌倉文化圏（市内仏像調査）」 『館山市立博物館報』 館山市立博物館
- 一九八三・五・二五 「阿弥陀如来のかたち」 『太陽―仏の美と心シリーズII』 平凡社
- 一九八三・七・二八 「彫像の写実と技法」 『日本の美と文化』八巻 講談社
- 一九八四・一・一五 「虚空蔵菩薩のかたち」 『宗教と現代』五五号 鎌倉新書
- 一九八四・二・二五 「観音の道I」 『太陽―観音の道シリーズI』 平凡社
- 一九八四・三・一 「定朝以前から運慶まで」 『大法輪』五一巻三号 大法輪閣
- 一九八四・五・二五 「観音の道II」 『太陽―観音の道シリーズII』 平凡社
- 一九八四・五・二五 「観音の道III」 『太陽―観音の道シリーズIII』 平凡社
- 一九八四・一二・一 「日本の仏像に見る『東』と『西』」 『月刊かながわ』五二四号 神奈川県民部広報

課

- 一九八四・一二・一九 作品解説『全集日本の古寺二 鎌倉と東国の古寺』 集英社
- 一九八五・四・一八 作品解説『全集日本の古寺一〇 法隆寺と斑鳩・生駒の古寺』 集英社
- 一九八七・九・一四 「仏像調査千年の心掴む」『日本経済新聞』 日本経済新聞社
- 一九八九・七・二〇 「仏像鑑賞の手引き」『東大寺物語』 世界文化社
- 一九九〇・一〇・一〇 「東海地方と近江の仏像」『仏像を旅する（東海道線）』 至文堂
- 一九九一・八・二六 作品解説『日本美術全集一〇 運慶と快慶』 講談社
- 一九九一・一一・一〇 「異相の仏たち―中世的精神の表現―」『有鄰』二八八号 有隣堂
- 一九九三・一〇・三一 「観音菩薩の造形と信仰」『東海百観音名宝展図録』 名古屋市博物館
- 一九九九・一〇・二六 作品等解説『岩波日本史辞典』 岩波書店
- 二〇〇二・七・五 解説『仏教美術事典』 東京書籍
- 二〇〇二・一〇・一〇 「座談会 鎌倉大仏建立750年」『有隣』四一九号 有隣堂
- 二〇〇二・一二・一八 「仏像の美容院」『成城教育』一一八号 成城学園教育研究所
- 二〇〇四・一一・一三 「講演「仏像の顔・仏像の眼」partⅡ」『講演会記録』 大幸財団
- 二〇〇六・四・二〇 「民俗学と仏像」『民俗学研究所ニュース』七二号 成城大学民俗学研究所
- 二〇〇八・三・三 「鎌倉大仏の歴史と造像技法」井上久美子写真集『鎌倉大仏』 鎌倉大仏殿高德院
- 二〇〇八・三・三 「シンポジウム 仏師運慶をめぐる新発見と課題」『金沢文庫研究』三三〇号 神奈

川県立金沢文庫

二〇〇八・四・一〇 「座談会 仏像の顔と眼差し『週刊日本の仏像』刊行にちなんで」『有隣』四八五号

有隣堂

二〇〇八・九・一 「私の好きな仏像」『サライ』四七六号 小学館

二〇〇九・六・五 「座談会 世界への扉を開くタオイズム」『TAO』二八五号 日本道観総本部

二〇〇九・七 「鎌倉大仏の歴史的意義と世界遺産としての位置付け」『武家の古都・鎌倉ニュース』一二号 鎌倉世界遺産登録推進協議会

新聞・雑誌等

一九七八・六・三〇 「私と仕事（折尺と資料に託した日々）」『公研かながわ』六四号 神奈川県公務研修

所

一九七九・七・二九 「ヨーロッパの博物館 上（東洋美術への関心）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九七九・七・三一 「ヨーロッパの博物館 中（展示の工夫こらす）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九七九・八・五 「ヨーロッパの博物館 下（新しい展示の方法）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九八〇・五・二八 「日本とアジア1（仏像〈上〉中国と日本）」『教育学術新聞』一一三二号 日本私立

大学協会

一九八〇・六・四 「日本とアジア2（仏像〈下〉中国と日本）」『教育学術新聞』一一三四号 日本私立

大学協会

- 一九八〇・七・一〇 「『本』の中の博物館（Ⅰ）アラビアンナイトの殺人事件」『神奈川県立博物館だより』
六八号 神奈川県立博物館
- 一九八〇・八・二一 「渦巻菱文漆厄（上海博物館珍藏文物展）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社
- 一九八〇・八・二五 「『本』の中の博物館（Ⅱ）死の季節」『神奈川県立博物館だより』六九号 神奈川県立博物館
- 一九八一・二・一〇 「『本』の中の博物館（Ⅲ）カーライル博物館」『神奈川県立博物館だより』七〇号
神奈川県立博物館
- 一九八一・三・二五 「『本』の中の博物館（Ⅳ）カブト虫殺人事件」『神奈川県立博物館だより』七一号
神奈川県立博物館
- 一九八一・三・三一 「ヨーロッパ巡回展随行動戦の記」『神奈川県博物館協会々報』四五号 神奈川県博物館協会
- 一九八九・四・一 「『挨拶をする』とは」『パンフレット成城』成城大学
- 一九八九・四・九 「視点を变える」『学生生活』一二二号 成城大学
- 一九九〇・三・三一 「縁がある」『あにゅある』二四号 成城短期大学英語コース
- 一九九〇・四・一 「無心」『パンフレット成城』成城大学
- 一九九〇・四・九 「小さな旅の勧め」『学生生活』一二七号 成城大学
- 一九九〇・七・二五 「将来計画に期待する」『成城学園報』成城学園
- 一九九一・三・三一 「几帳面」『パンフレット成城』成城大学

- 一九九一・四・五 「曲り角」『学生生活』一三三号 成城大学
- 一九九二・三・五 「花」の小面(こおもて)、『ひととせ』一三三号 成城短期大学
- 一九九二・四・五 「120年前の教え」『学生生活』一三九号 成城大学
- 一九九二・九・一二 「仁王像の作者を当てて」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九三・三・一 「明暗」『ひととせ』二四号 成城短期大学
- 一九九三・四・五 「天狼南中」『学生生活』一四五号 成城大学
- 一九九四・二・一五 「露座の大仏 礎石が語る500年間」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九四・三・一 「窓と風景」『ひととせ』二五号 成城短期大学
- 一九九四・三・二三 「友情の出発点として」『卒業パーティーしおり』成城大学
- 一九九四・四・五 「前向きにありたい」『学生生活』一五七号 成城大学
- 一九九四・一〇・一 「土井淑子先生を悼む」『成城学園報』成城学園
- 一九九五・三・一 「出会いこそ」『ひととせ』二六号 成城短期大学部
- 一九九五・四・五 「卒業生に新人生を重ねて」『学生生活』一五七号 成城大学
- 一九九五・四・一一 「紙面直言 本質に触れた記事を」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・五・一六 「紙面直言 オウム幹部会見記事に疑問」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・六・二〇 「紙面直言 物足りぬ自然環境破壊報道」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・七・二五 「紙面直言 分かりにくい「照明灯」2例」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・八・二一 「紙面直言 心もとない「環境」問題報道」『神奈川新聞』神奈川新聞社

- 二〇〇〇・八・一 「かっこよさに憧れて」『新世』六三四号 倫理研究所
- 二〇〇五・三・三一 「シンポジウム 第一部「生き残る博物館」『博物館学雑誌』四二号 全日本博物館学会
- 二〇〇五・一〇・六 「インタビュー 荒俣宏の日本橋21世紀紳士録第7回」『こんにちは』二六〇号 三井不動産
- 二〇〇五・一〇・一〇 「三井記念美術館開館 対談高階秀爾氏」『駱駝』三号 小学館
- 二〇〇五・一〇・二〇 「三井記念美術館10月8日開館へ」『美術の窓』二七二号 生活の友社
- 二〇〇五・一〇・二〇 「三井記念美術館館長清水眞澄さん」『月刊美術』三六一号 実業の日本社
- 二〇〇五・二・一五 「江戸商人の伝統をいまに伝え、未来に貢献する」『C u l t i v a t e』二六号 文化環境研究所
- 二〇〇六・一・一 「人物語 清水眞澄さん 子ども達と未来のために―館長の挑戦」『日本橋』三二一号 日本橋コミュニティセンター
- 二〇〇六・一・二〇 「三井記念美術館の挑戦」『交詢雑誌』四九一号 交詢社
- 二〇〇七・一・五 「インタビュー 新しい日本橋、開館2年目の春を迎える三井記念美術館」『週刊読書人』二六六九号 読書人
- 二〇〇七・一・二〇 「日本橋唯一の美術館 三井記念美術館」『INAX REPORT』一六九号 INAX
- 二〇〇七・四・五 「学長挨拶」『学生生活』二一四号 成城大学

- 二〇〇七・六・三〇 「所信表明」『成城教育』一三六号 成城学園教育研究所
- 二〇〇七・七・一 「インタビュー 成城学園」『読売ウィークリー』三〇八一号 読売新聞社
- 二〇〇七・七・一〇 「未来社会への貢献」を指して」『成城だより』一三一号 成城大学
- 二〇〇七・七・二五 「美術館・博物館の今―独立法人博物館・美術館の評価委員を終えて」『博物館研究』四七〇号 日本博物館協会
- 二〇〇七・八・一 「学長挨拶」『学生生活』二一六号 成城大学
- 二〇〇七・二二・二 「トップインタビュー 成城学園(兵頭学園長とともに)」『サンデー毎日』四八四八号 毎日新聞社
- 二〇〇八・三・一 「コラム「成城大学そして成城学園の今」」『成城学園報』二五五号 成城大学
- 二〇〇八・四 「学長インタビュー」『SEIJO NEWS PAPER』七号
- 二〇〇八・四・一 「新入生諸君！ 入学おめでとう」『パンフレット 成城』成城大学
- 二〇〇八・四・五 「学長からのメッセージ」『学生生活』二一八号 成城大学
- 二〇〇八・四・一〇 「我が街 成城人 清水眞澄さん」『成城ライフ』二四号 柁世社
- 二〇〇八・九・四 「「コロナイプ技術の保存と印刷文化を考える会」の趣旨に賛同して」『玻璃彩』一号 コロナイプ技術の保存と印刷文化を考える会
- 二〇〇八・一〇・一 「新しくなった成城学園の今(大学)」『成城学園 募金NEWS LETTER』一
一号 成城大学
- 二〇〇九・四・一 「新入生諸君！ 入学おめでとう」『パンフレット 成城』成城大学

- 二〇〇九・二・一 「コラム「未来社会への貢献」」『成城学園報』二二六号 成城大学
- 二〇〇九・四・五 「学長挨拶」『学生生活』二二三号 成城大学
- 二〇〇九・七・一〇 「成城教育の「これから」とは」『成城だより』一三五号 成城大学
- 二〇〇九・九・一七 「第60回四大学運動競技大会によせて」『第60回四大学運動競技大会パンフレット』
第60回四大学運動競技大会実行委員会
- 二〇〇九・一〇・一 「コラム「宣言」」『成城学園報』二七四号 成城大学
- 二〇〇九・一一・八 「第40回クローバーの集いによせて」『第40回クローバーの集いパンフレット』
- 二〇〇九・一二・一〇 「漕艇部創立50周年」『成城大学漕艇部創立50周年記念誌』 成城大学漕艇部
- 二〇〇九・一二・二四 「青春とは何か『グリーンハウス』」 東北大学川内テニスクラブ
- 二〇一〇・二・一〇 「第60回四大学運動競技大会を終えて」『四大学運動競技大会 第60年史』

動物園関係

著書

- 一九九五・一二・一五 『世界と日本の動物園を歩く―その美学的愉しみ―』 三修社(著者名 清水あずみ 絵・文)
- 二〇〇〇・八・二〇 『世界と日本の動物園から』 三修社(前著の改訂版 著者名 清水あずみ 絵・文)

エッセイ等

- 一九八三・三・二二
「動物園礼賛」、「動物園の四季」、「動物園の美学」、「人間動物園と動物動物園」、「動物園と動物の名前」、「ボルゲーゼ動物園」、「動物園パンフレット」、「アメリカの動物園に行った川田建氏」『ひととせ』一四〇二二号 成城短期大学
- 一九九一・三・二二
「動物園シリーズ」(一〇一五) 『法政通信』四九二一〜六四三号(表紙絵とエッセイ)
法政大学
- 一九九一・九・一
「ゴリラの嫁入り 懐かしの記事に「再会」」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九五・五・一三
「東洋美術史の「動物園」から「象」」『どうぶつと動物園』五五六号 東京動物園協会
- 一九九六・七・一
- 一九九七・六・一
「動物園さんぽ(一〜四) 生活の証明、色と形と、六本のキバ、車椅子の2人」『朝日新聞日曜版』(四回連載) 朝日新聞社(著書名 清水あずみ)
- 一九九八・三・三一
「動物園は創造性の原点だ」『ZOOよこはま』三六号 横浜市動物園友の会
- 一九九八・七・一
「動物園の風景(一〜六) 食べる、寝る、歩く、糞をする、鳴く・吠える、浴びる・泳ぐ」『新世』六〇九〜六一四号(六回連載) 倫理研究所(著書名 清水あずみ)
- 二〇〇三
「動物園で会いましょう」『成城教育』成城学園教育研究所
- 二〇〇五・八・一〇
「動物園を歩く術」『Coyote』七号 スイッチパブリッシング

- 二〇〇六・五・一 「世界「動物園」紀行」『相鉄瓦版』一四九号 相鉄ホールディングス
二〇〇七・八・一 「いざ動物園 世界クマなく」『日本経済新聞』 日本経済新聞社
二〇〇九・四・一〇 「座談会 動物園は面白い」『有隣』四九七号 有隣堂